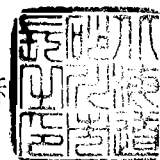


砂 企 画 第 2 5 号
平成20年10月15日

国土交通省道路局長 様

砂川市長 菊 谷 勝 禾



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

標記の件につきまして、別紙のとおり提出いたしますので、よろしくお取り計らい願います。

(総務部広報広聴課企画調整係)

1 道路の補修に対する財源措置

道路は、住民の社会・経済活動の基盤となる基本的な公共施設として急速に整備されてきた。今後はこれまで整備されてきた道路の改良事業のみならず、橋梁を含めた補修事業が増加するものと見込まれる。これは、既存ストックの有効活用や長寿命化、環境負荷の軽減といった観点からも、その必要性が高まるものと考えられる。このため、こうした道路等の補修事業に対する財源措置を講じられたい。

2 交付金制度の存続・緩和等

当市において、市道南1丁目線とJRアンダーパス交差点周辺の改善は、まちなかの活性化を進めるうえからも長年の課題となっているが、これに関連し次の事項について要望する。

- (1) 財政難に苦しむ市町村にとって道路整備に対する交付金は大変貴重なものとなっており、本制度を存続させること。
- (2) 現行の交付金制度では道路構造令に合致した道路整備が対象となっているが、地域の必要性に応じた様々な構造の道路整備も対象となるよう道路構造令または交付金制度を緩和し、効率的・効果的な制度とすること。
- (3) 南1丁目線は都市計画街路であるため街路事業としての事業実施を検討しているが、現行の過疎対策事業債は街路事業を対象としておらず相当の財政負担が見込まれる。南1丁目線の整備は街路事業ではあるものの、過疎化が進行する当市の活性化に欠かせない事業であるため、街路事業も過疎対策事業債の対象としていただきたい。

3 スマートICの推進

当市では、砂川ハイウェイオアシスにスマートICを設置することの検討を進めてきたが、今後の高速道路施策に大きく左右される事業であるため、現在はその動向を注視している状況にある。本事業は、高速道路利用者の利便性向上だけではなく地域経済の活性化を図るうえでも大きな期待がかかる事業であるため、「スマートIC本格導入支援事業」を存続するなど、スマートICの設置を強力に推進していただきたい。

○現状 ○課題

近年、産業経済活動や生活圏の広域化、地域間交流の活発化などにより道路の重要性がますます高まり、道路網の整備が望まれるほか、車輛の増加、大型化に対応した各地域の既設道路の改良などが共通的な課題となっています。

本市を含む中空知圏域は、道東及び道北並びに道央を結ぶ交通の要衝になっており、特に道都札幌市と北の拠点都市旭川市のほぼ中間に位置し、さらに道央自動車道のインターチェンジが隣接する滝川市、奈井江町に設置されていることから、市内の交通量は増加の一途をたどっています。

このため、快適で安全な道路環境づくりが求められ、道路景観に配慮した街路樹の整備、街路灯、駐車場の整備、国際化を踏まえた観光案内版や道路に付帯するバリアフリーに配慮した各種利便施設の整備を図る必要があります。

また、交通安全施設の増設についても関係機関に要請していく必要があります。

さらに、冬期間の交通確保のため除排雪体制の整備を図るなど、安全で快適な道路整備の維持と維持管理に努め、機能的で快適な道路網の形成を図る必要があります。

(砂川市第5期総合計画 第2章「快適でうるおいのあるまちづくり」 第1節「交通網の整備」より)

1 広域幹線道路の整備

(1) 道道の整備促進

砂川・奈井江・美唄線の二次改築と歩道整備の促進を図ります。

(2) 道道昇格への促進

南1丁目線、南7号西沿通の道道への昇格を促進します。

2 市内交通網の整備

(1) 改良・舗装の推進

安全で快適な生活道路を確保するために道路や橋梁の改良・舗装の整備を推進します。

3 市内道路の環境整備

(1) バリアフリー歩行空間の整備

市内幹線市道をバリアフリー歩行空間ネットワーク整備事業区域と位置づけ、歩車道の区分と段差の解消を積極的に推進します。

(砂川市第5期総合計画 第2章「快適でうるおいのあるまちづくり」 第1節「交通網の整備」より)

※ 1(2)南1丁目線の道道昇格については、長年にわたり北海道に対して道道昇格を要望していたが、平成17年度に道道昇格は難しいとの回答があったことから、市道として整備する検討を進めている。

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価	○その他
・ まちなか活性化	・ 南１丁目線の整備 市道南１丁目線とＪＲアンダーパス交差点周辺の改善	・ 当市にとって、市道南１丁目線を整備することは長年の課題となってきた。特に近年は、「まちなか活性化」を目指し、砂川駅東部地区の開発等を重点的に進めてきたため、ＪＲで分断された東西市街地を結ぶ要として、本事業の必要性はますます高まっており、本事業により地域住民の安全性や利便性を確保する効果が期待できる。	
・ 市内経済の活性化	・ スマートＩＣの設置 砂川ハイウェイオアシスにスマートＩＣを設置	・ 本事業を実施することにより、高速道路利用者の利便性が向上するのみならず、市内観光資源への来客者の誘導、市内工業団地への企業立地の推進、市立病院の救急医療への貢献、歌志内市等へのアクセス向上など、様々な分野へ大きな波及効果が期待できる。	